

## 会議録

会 議 名	八王子市沿道集落地区の魅力再生事業補助金懇談会	
日 時	令和5年（2023年）11月6日（月） 10時00分～12時00分	
場 所	八王子市保健所内会議室	
出 席 者	委 員	多摩大学 経営情報学部 事業構想学科 教授：長島 剛 多摩信用金庫 価値創造事業部 主任調査役：小俣 充義 八王子市産業振興部産業政策専門管理官：瀬尾 和子 八王子市都市計画部長：守屋 清志
		申請者 特定非営利活動法人はちびろ オンガタ銀座商店会 オンガタ電動キックボード推進協議会
	事務局	土地利用計画課：倉田課長、辻課長補佐、福田主査、木下主事
欠席者氏名	なし	
議 題	八王子市沿道集落地区の魅力再生事業補助金活用事業について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	なし	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	タイムスケジュール・・・資料1 計画書等（特定非営利活動法人はちびろ）・・・資料2 計画書等（オンガタ銀座商店会）・・・資料3 計画書等（オンガタ電動キックボード推進協議会）・・・資料4 評価表・・・資料5 補助金交付要綱・・・資料6	
会議の内容	1. 開会・挨拶・事業説明等 事務局進行のもと、事業説明が行われた。 ・本補助金は沿道集落における住民活動の基盤形成を支援する趣旨で設立した。これまでの支援を通じて、徐々に自立に向けた活動に取り組む団体も現れていることから、これまでの経過や実態を考慮し、各団体の自立を促進する観点から補助要綱を見直し、補助事業の分類や補助回数、補助額の上限を変更した。	
	2. 補助金選定申込者によるプレゼンテーション等 （1）特定非営利活動法人はちびろ ア. プレゼンテーション 計画書等（資料2）に沿って、申込者のプレゼンテーションが行われた。	

	<p>ア) 事業名 高月町における持続可能な農業実証事業</p> <p>イ) 事業コンセプト みんなで高月町の風景を守りたい！高月町田んぼをつなぐプロジェクト</p> <p>ウ) 過年度の活動経過</p> <p>エ) 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高月町の農業者と支援者（市民）対象のヒアリング及びワークショップ（令和5年度）</li> <li>② 高月町における持続可能な農業実証事業計画の策定と体制整備（令和5年度）</li> <li>③ 実証事業（援農モニターツアー、田んぼオーナー制度等）の実施・評価（令和6・7年度）</li> <li>④ 実証事業の結果を踏まえた農業再生プランの構築（令和7年度以降）</li> </ol> <p>イ. 質疑応答</p> <p>【委員】特定非営利活動法人はちぶろ（以下「NPO」という。）は酒蔵の運営はしておらず、農業の担い手の育成をしているという認識しているが良いか。</p> <p>【申込者】その認識で良い。現状は目途が立っていないが、今後は取り組んでいきたい。</p> <p>【委員】構成するメンバーの13名は地域貢献として活動しているという認識で良いか。</p> <p>【申込者】その認識で良い。地域イベントの参加や、八王子酒造りプロジェクトでは市民参加型でお米づくりからお酒が出来るまでの工程を体験し楽しんでいただくという趣旨で活動している。</p> <p>【委員】NPOの収入はどのくらいか伺いたい。また、人件費はないという認識で良いか。</p> <p>【申込者】会費とイベントでの参加費等である。人件費はその認識で良い。</p> <p>【委員】酒米づくりは高月町の農地の何割を占めているのか。</p> <p>【申込者】八王子市の給食米も生産しており、約6割であると考えられる。</p> <p>【委員】それでは、この事業が農家のためになると考えて良いか。</p> <p>【申込者】農家は酒米づくりを増やしていくようになり、ご協力もあり年々少しずつ増えている。</p> <p>【委員】酒米は他の米と比べ、単価は高いのか。</p>
--	--

	<p>【申込者】その通り。兵庫県の有名なお酒と同じくらいの単価であるため、米の質の向上も図っていきたいと考えている。</p> <p>【委員】この事業によって、酒米づくりをしたい農家が今後増えると考えられるか。</p> <p>【申込者】そう考えている。日本酒の原料として使用するので、収入の安定化が見込まれるためである。</p> <p>【委員】八王子市では上恩方町の夕やけ小やけふれあいの里でも田植え体験等をしているが、そのような団体と連携することで相乗効果が得られると考える。</p> <p>【委員】担い手づくりでは農業初心者から就農を考える人まで、様々な方を対象とした事業なのか。</p> <p>【申込者】その通り。農家の意見も聞きながら、高月町の田園を維持するために、従事者の段階別にパッケージのようなものを作っていきたいと考えている。</p> <p>【委員】本事業の実現性や次年度につなげるためには、どのようにして人集めや楽しんでいただくかだと考える。そのため周知や呼びかけが大事であると考えているが、現時点で考えているものはあるか。</p> <p>【申込者】当NPOの活動には危機感をもった農家が参加していただき、未経験の人にも指導をしてくださる。</p> <p>・質疑応答終了。</p> <p>(2) オンガタ銀座商店会</p> <p>ア. プレゼンテーション</p> <p>計画書等(資料3)に沿って、申込者のプレゼンテーションが行われた。</p> <p>ア) 事業名</p> <p>五感ロック～恩方地域応援アンテナショップを起点とした地域活性化</p> <p>イ) 事業コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションワークショップイベント「五感ロック」</li> <li>・恩方地域での本格キャンプイベント「篝火」</li> </ul> <p>ウ) 過年度の活動経過</p> <p>エ) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五感ロック(体験型ワークショップイベント)</li> </ul> <p>商店会メンバーの製品や商品をワークショップ形式で体験してもらう</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レザークラフトワークショップ</li> <li>2. 焚き火台の工作・焚き火体験のワークショップ</li> <li>3. マスの塩焼き体験</li> </ol>
--	--

4. コーヒードリップワークショップ
5. 竹酒ワークショップ
6. 小津倶楽部による苔玉ワークショップ
7. オンガタ食堂によるあおぞら子ども食堂
8. 恩方ベースによるふるまい豚汁  
・篝火（上級者向けキャンプイベント）

山々に囲まれた夕こけ小やけふれあいの里芝生広場にて、冬キャンプを楽しんでもらい、上級者向けにキャンプができる地域として魅力を発信する。夜は八王子のアウトドア関連の事業者を集め、宿泊者と交流をすることで、ロケーションだけでなく、地域にあるブランドや事業者と併せた包括的なファンを育成する。

#### イ. 質疑応答

【委員】 補助金は各ワークショップ出店者への開催経費の補助にも使われるという認識で良いか。

【申込者】 その認識で良い。各出店者で出資もしていただくが、経費の一部を負担する。

【委員】 来年度はどのように考えているのか。

【申込者】 今年度事業である程度集客が見込めなければ、来年度のイベントで補助金がない場合は小規模の開催になる可能性がある。

【委員】 どのくらいの集客で採算が合うのか。また、集客のための工夫はあるか。

【申込者】 キャンプイベントの開催スペースは最大 20 組となるが、五感ロックで 1,000 人から 1,500 人が参加すれば採算が合うと考える。集客方法として、メディアの広告宣伝や他イベントとの差別化を図ることを考えている。また、昨年度のイベントでの雪景色などの写真を使ったプロモーションも考えている。

【委員】 イベントは予約制を考えているのか。

【申込者】 来場者数の見通しが立つため予約制を考えている。予約する方法として、オンガタ銀座商店会のホームページでの運用を考えている。

【委員】 イベントにより年間を通じたプラスの効果は得られているのか。

【申込者】 商業者に評判が上がるなどして商店会の加入希望者が増加した。また、町会の祭りに声をかけられることが多くなり、地域団体とのつながりもできてきた。そのため、将来的には補助金を受けなくても地域団体と一緒に

にまちづくりの仕組みができればと考えている。

【委員】キャンプイベントは上級者向けであるため、年々固定客化してしまう懸念を抱くがどのように考えているか。

【申込者】固定客も欲しいと考えており、コアの客から周りに広まっていくことも期待している。

【委員】アウトドア事業者を集めて具体的に何をするのか。

【申込者】五感ロックに協力いただいている団体などに出店していただき、地域のアウトドア製品などを出していただく。また、コアなキャンパーに好評な地元のガレージキャンプストアによるファミリーパーティーのようなものも考えている。

【委員】地域のイベントに声をかけられることが増えてきた一方で、地域の人からこんなことをやりたいという相談などは来ているのか。

【申込者】今年、三年前に台風の影響を受けた松竹地区からお祭りをしたいという相談を受けた。準備から出店、やぐらの設営など手伝いをし、皆の協力でできた祭りだった。

【委員】地元で新たな人や団体が活動的になり、地域が活性化することを期待している。地元で活動するにあたり工夫していることはあるか。

【申込者】まずは人を知るために話す機会を大切にすることである。恩方に住み、商売をしたい若い人からの相談も増えているので、高齢者を支える循環ができれば良いと考えている。

・質疑応答終了。

### (3) オンガタ電動キックボード推進協議会

#### ア. プレゼンテーション

計画書等(資料4)に沿って、申込者のプレゼンテーションが行われた。

#### ア) 事業名

恩方地域における電動キックボード導入検討事業

#### イ) 事業コンセプト

恩方地域において地域資源を活用した地域活性化事業を立案する際、観光スポットにおける駐車スペースの確保の難しさや道の狭隘さ等から課題となっている現地への交通手段に対し、電動キックボードの活用により課題解決を図るとともに、電動キックボードによる移動そのものも新たな地域活性化事

業のコンテンツとすることを目的とする。

ウ) 実施内容

本事業における実施団体は、以下の3者で構成されている。

- ・ CREAP 株式会社（事務局）
- ・ BRJ 株式会社
- ・ 株式会社グッドライフ多摩

1. 令和5年度：まちづくり検討事業

電動キックボードを活用した恩方地域の将来構想の検討及び準備調整

- ・ 恩方地域における電動キックボードの活用可能性の検討
- ・ 電動キックボードの運用に係る課題抽出と調整
- ・ 電動キックボードの貸出等の運営体制の構築
- ・ 電動キックボードを活用した観光ツアー等の企画立案

2. 令和6年度以降：まちづくり実施事業

電動キックボードの試行運用を通じた各種調査

- ・ 恩方地域における移動手段としてのニーズ調査
- ・ 電動キックボードを組み込んだ観光商品のマーケティング調査

イ. 質疑応答

【委員】 BRJ 株式会社は具体的に事業費で何をするのか。

【申込者】 今年度に2回実施予定である電動キックボードの試乗会にかかる車両費、人件費等である。

【委員】 電動キックボードはイベントを開催するときに設置するのか。

【申込者】 来年度にステーションを設置するために、今年度は需要と使用用途を調査する。

【委員】 BRJ 株式会社は他の地域でも同じような活動をされているのか。

【申込者】 地方自治体で観光アクティビティとして導入できるか実証実験をしている。本事業においてはアクティビティだけでなく地元の人々の需要があるかも考慮する。

【委員】 事故が起きないように気を付けていただきたい。

【申込者】 恩方では釣りの漁協権を取得できるので、電動キックボードに乗って釣りスポットを巡るという観光としての需要があると考えている。

【委員】 現時点で電動キックボード導入は検討中であり、検討結果次第では必ずしも導入をする訳でもないという認識で良いか。

【申込者】 その通りである。観光における閑散期でも電動キック

	<p>ボードの需要があるのか、日常使いとして需要があるのかを調査したい。</p> <p>【委員】恩方にはファミリー層や車で来る人が多く、乗り捨てや16歳未満は利用できないことも考慮した活用方法も考えていただきたい。</p> <p>【委員】レンタルサイクルなど他の手法との比較をしながら検討していただきたい。また、地域の交通状況などを考慮した検討も重点的にしていただきたい。</p> <p>【委員】今年度の検証では、実際に夕こけ小やけなど来られている人に電動キックボードに乗っていただくことを考えているのか。</p> <p>【申込者】今年度はそもそも電動キックボードの需要があるのかを検討し、来年度にそのような検証をする。</p> <p>・質疑応答終了。</p> <p>3. 閉会</p> <p>懇談会での意見等を踏まえ、市土地利用計画課にて補助金交付予定者を決定する旨事務局から説明があり、会が閉会した。</p>
署名 人	懇談会委員：長島 剛